統計研修講義計画書

研修課程	ミクロデータ分析（R による統計解析）	講義科目	ミクロデータ分析の実際	講義時間	６コマ
講　　師	古田　裕繁 元 UNSIAP 講師				

※１コマ 70 分

講義のねらい

- 世帯標本調査の疑似ミクロデータを用いて、ミクロデータ分析の手順を学ぶ。
- その後、グループ演習で、与えられた課題に基づいて、クロス表などを作成し、習った知識・技能を確実なものとする。
- ①ウェイトを適切に用いて、クロス表を作成できること、および、②主要な結果について、適正に標本誤差の評価ができることを目標とする。

指導項目と内容

指 導 項 目	内　　容
１　世帯標本疑似ミクロデータを用いた分析の実際	● データチェック（例、関連チェック） ● データの再構成 （例、世帯ファイルと個人ファイルのマージ） ● 新規変数の作成 （例、個人ファイルから世帯レベル変数の作成） ● 集計表作成の TIPS
２　グループ演習	● ３～４人のグループで、与えられた課題に基づいて、上記ミクロデータの分析を行う。 ● 結果のプレゼンテーションと質疑を行う。 ● 講師から講評を行う。

講義形態 指導方法	パワーポイントを用いた講義と討議 ３～４人のグループによるグループ演習
受講に必要な基礎知識等	統計調査の経験＋統計に対する熱意＋アルゴリズム（物事のやり方）に関する興味